

# 駅から始まる 「EKIMISE」で ワクワクするような春を発見



こんにちは、武司です。今日は母と国谷さんと一緒に、花見も兼ねて浅草へ出かけてきました。これは、外観が建設された約80年前のシックな姿にリニューアルされた浅草駅ビルです。「EKIMISE(エキミセ)」のユニークなショップやレストランも楽しんできました。(MAPの①)

## 今回の登場人物



国谷 幸子  
あずまの先輩講師  
で相談相手でもある。  
趣味は家庭菜園。



業平 武司  
業平家の長男であず  
まの弟。サッカーと  
鉄道と愛する高校生。



業平 道子  
あずまの母親。小学生  
向けの英会話教室  
を経営する。  
趣味は園芸。



昨年5月、浅草駅ビルの外観がネオホルネサンス様式を再現して生まれ変わり、11月21日に新たな商業施設「EKIMISE」としてグランドオープンしました。東武スカイツリーラインのターミナル『浅草駅』の、新たな門出です。

## 浅草

(あさくさ)

最近、浅草が面白い！ という評判は本当です。まず、街の表玄関として長年愛されてきた「浅草駅ビル」が、建設当時のシックな姿にリニューアルされました。変わったな〜と思っていると、お楽しみはまだまだ。そのターミナルに直結して、話題いっぱい「EKIMISE(エキミセ)」が誕生。さあ、いつもの浅草観光とはちょっと違う、旬の下町発見に出かけましょう。隅田川の桜も美しく、新しい春を迎えました。



大相撲グッズの「好角家」というショップ。国技館の公認グッズや有田焼のオリジナル限定商品、さらには、横綱のフィギュアも。店名は相撲通という意味だそうです。(MAPの③)



まずは一番上の7階へ。ここは「北海道ごろごろ」という、毎日が北海道物産展といった感じのお店。すぐに食べられるソフトクリームやコロッケも大人気。母と国谷さんも食材をたくさんゲットしていました。(MAPの⑤)



7階の「駅見せごはん」には7店のレストランがあり、「離島キッチン」というお店に入りました。これはスルメ(シマメ)を特製の肝醤油だれで漬けた、隠岐の島の漁師めし「隠岐寒シマメ漬け丼」です。ほくは「サザエカレー」を食べました。(MAPの⑥)



こちらは忍者を中心に戦国時代、時代劇をテーマにした「忍屋」さん。手裏剣投げも体験できました。ちょっと笑えるお菓子や、ユニークな商品がいっぱいで楽しめました。(MAPの⑦)

で体験でき、興じる人の歓声が絶えません。

下町・浅草らしく遊び心があるのも特長です。「好角家」は名の通り相撲ファン待望の専門店。通向けグッズからお土産品まで揃っています。珍しい「忍屋」は、忍者や時代劇がテーマのエンターテインメントショップ。実際に、手裏剣投げ

にいいモノも、きつと見つかります。

たとえば、散歩気分で見てもわるなら7階。「EAST TOKYOマーケットわのいち」と名付けられたフロアでは、江戸文化や職人技をいまに伝える、和テイストの日常雑貨やファッションの数々がいっぱい。欲しかったグッズやプレゼントにいいモノも、きつと見つかります。

変わったのは外観だけではありません。浅草駅ビル開業時から営業している「松屋浅草」に加え、4階から7階と屋上まで、新ショップや新ゾーンがオープン。これが、最近話題の「E-KIMS E(エキミセ)」です。

たといま、私たちの前にある駅ビルの建物は去年、新しいランドマークとしてリニューアルされています。80数年の歴史を語るようなネオ・ルネサンス様式が、現代的でありながら懐かしい。当時の姿を参考に復元された時計塔を見上げると、古き良き時代に佇んでいるようです。

変わつたのは外観だけではありません。浅草駅ビル開業時から営業している「松屋浅草」に加え、4階から7階と屋上まで、新ショップや新ゾーンがオープン。これが、最近話題の「E-KIMS E(エキミセ)」です。

駅直結の気軽さで  
新しい生活スタイルを見つける。



「EKIMISE」のほかの階も散策したあと、駅ビルを出て隅田公園へ。春のうららの隅田川とサクラ、そして対岸には、サクラとの2ショットが初めてとなる東京スカイツリーが。3人で代わる代わる記念写真を撮りました。(MAPの㉔)



7階から屋上の「浅草ハレテラス」に出ました。フォトスポットからは、東京スカイツリー®を足元から笑逆まで一望できました。出世稲荷神社というお社もあり、お参りしてきました。買い物の休憩にも最適のスポットです。(MAPの㉕)



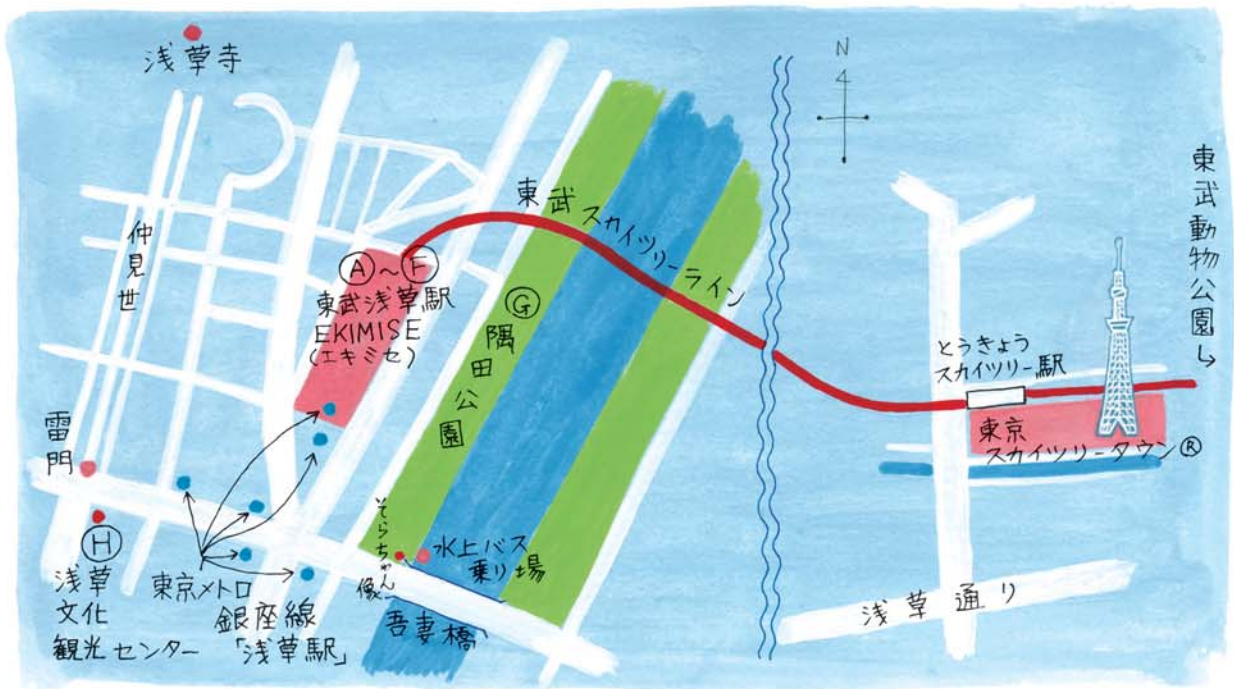
雷門の前にある「浅草文化観光センター」です。国際的観光地にふさわしく、観光案内が充実。8階には喫茶室と展望テラスがあり、仲見世を上から見るのは初めての体験でした。東京スカイツリーの眺めも最高でしたよ。(MAPの㉖)

## あの東京スカイツリー®も隅田川の桜もセットで楽しもう。

浅草といえば「おいしい穴場」の多い街。「EKIMISE」にも7階に「駅見世ごはん」と呼ばれるコーナーがあり、有名老舗や人気レストランが出店しています。和・洋・中・韓・オリジナル…と、味のバラエティーは多彩。なかには、「離島キッチン」という東京ではココだけの店舗もありました。これは、島根県は隠岐諸島の海士町を中心に、全国の離島が企画する小さなカフェ・レストラン。離島ならではの海と島の恵みを、地元レシビの定食や一品料理で満喫できるのです。食生活に彩りを添えるなら「北海道ごろごろ」。北海道ブランドの直送店で、豊かな大地で生まれた、こだわり素材からスナックまで人気商品の数々が調達できますし、テイクアウトの北海道名物コロッケやソフトクリームは特に評判です。

そして何ととってもおススメは、屋上にある「浅草ハレテラス」です。ここはあの「東京スカイツリー」を展望できる新名所。これほど晴れ晴れと634mの全貌が足元から観られるポイントとなると、そうはありません。景観に感心しながら気付きの、EKIMISEと東京スカイツリーはお隣同士の関係だということ。事実、東武スカイツリーラインに乗れば、1駅3分の近さ！これなら両方、セットで楽しみたくなります。

こうして、駅から始まる浅草散策は興味深いもの。お馴染みの雷門前に建つ、先進的な「浅草文化観光センター」の建築にみるように、浅草という街はいつも発見に満ちています。風情ある隅田川の桜にも彩られ、いい春が来ています。



浅草データファイル

〈EKIMISE〉・・・●交通＝東武浅草駅直結 ●  
 ●営業時間＝ショップ10：00～20：00／レストラン11：00～22：00（5Fサンマルクカフェは10：00～20：00）●休業日＝年中無休（元日、施設点検日等を除く）☎北海道ご3ご3（北海道産品）03-6802-8826／好角家（大相撲グッズ）03-6802-8944／忍屋（雑貨・アミューズメント）03-6802-8642／離島キッチン 03-6802-8077  
 〈隅田公園桜まつり〉・・・●交通＝東武浅草駅徒歩3分 ●開催日程＝3月20日頃～4月上旬 ☎浅草観光連盟 03-3844-1221  
 〈墨堤さくらまつり〉・・・●交通＝東武浅草駅徒歩18分（桜橋まで） ●開催日程＝3月下旬～4月上旬 ☎墨田区観光協会 03-5608-6951  
 〈浅草文化観光センター〉・・・●交通＝東武浅草駅徒歩5分 ●利用時間＝9：00～20：00（8F展望テラスと喫茶室は～22：00）●休館日＝年中無休（メンテナンスのため臨時休館あり）☎03-3842-5566



隅田川沿いには  
 様々な彫刻作品が  
 これは吾妻橋のたもと  
 にあるユニークな猫  
 の彫刻、「そらちゃん」。